

平成24年4月5日
第七管区海上保安本部

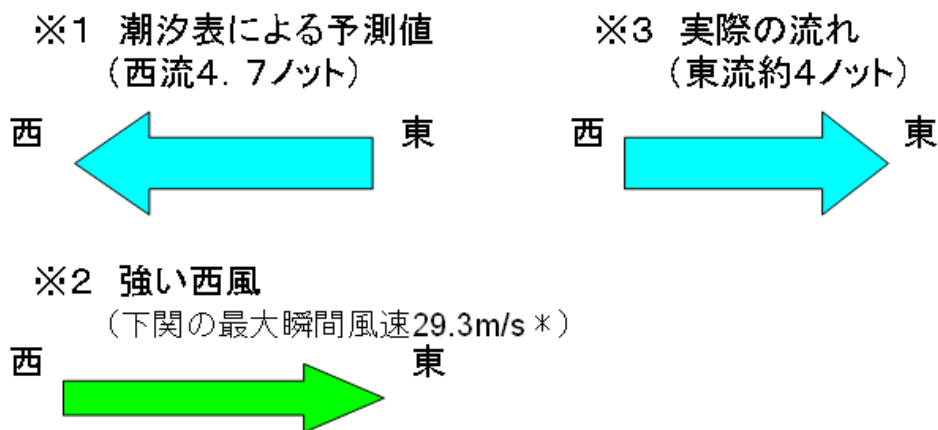
問い合わせ先
海洋情報部海洋調査課長 河合 晃司
電話 093-321-2931 (内線) 2530



4月3日に関門海峡で大きな片潮が発生しました

- 4月3日に十数時間に及ぶ東流（片潮）が発生しました。
- 片潮は潮汐表と実際の流れの差が8ノット以上にも及ぶ大きなものでした。

平成24年4月3日の夕刻18時48分に関門海峡の潮流は、潮汐表では西流4.7ノットと予測されておりましたが(※1)、発達した低気圧が日本海を通過したことにより強い西風となり(※2)、同時刻における実際の潮流は東流約4ノットとなりました(※3)。



* 気象庁HPより 4月3日14時12分の値

●片潮とは

関門海峡内の潮流は、ほぼ規則正しく約6時間毎に流向を反転し1日2回ずつ東流、西流が発生しますが、片潮は春秋の小潮期や冬季に北西風が連吹した場合などに発生し、十数時間流れの方向が変わりません。片潮はしばしば発生するものですが、今回のような潮汐表と実際の流れの差が8ノット以上にも及ぶ大きな片潮は珍しいものです。

関門海峡の流れ(4月3日)

